

盛会・日食報告会

編集部

1月7日に行われた日食報告会には、大勢ご参加頂きありがとうございました。受付名簿にご記入頂いた人数は160名（スタッフは除く）を数え、大盛況でした。当日のプログラムは以下の通りです。

1. 挨拶 山口正博氏
2. 全天ビデオの撮影： 戸田雅之氏（タイ）・竹沢康光氏（インド）
3. ベトナムでの観測： 大室恵昭氏（ベトナム）
4. ファテールシクリでの観測： 上原敏明氏（インド）
5. 今回のコロナの偏平率： 大越 治氏（インド）
6. 明星学苑の観測： 高橋典嗣氏（インド）
7. ビデオで捉えたシャドーバンド： 石川勝也氏（タイ）
8. ハイビジョンで撮影した日食： 岩崎一彰氏（ホルネオ）・洞沢 繁氏（ホルネオ）
9. 日食天気階級表について： 真砂礼宏氏
10. これから見られる日食： 石井 馨氏
11. 1999年の日食について： 木村精二氏
12. 総評： 村山定男氏

現地の様子や観測の様子、新しい機材や新しい試みなど、盛りだくさんの内容で時間もかなりオーバーしました。会場で質問の時間がとれなかったのが残念でしたが、終了後の廊下やロビーでは活発な質問が飛び交い、昨年の熱気が続いていることをうかがわせました。発表していただいた皆様、ありがとうございました。

また、さっそく発行された報告書（月の影、亜細亜をゆく）や、過去の日食の報告書（1988年3月・小笠原上空、1988年9月・ソマリア、1990年7月・フィンランド、1991年7月・メキシコ）の販売も行われ、日食に遠征した人もしなかった人も、感動を自分のものにできたようです。

発表の3、4、9についてはすでに「日食情報」に掲載されていますが、そのほかの発表についても順次掲載していく予定です。

もし予定通りに会が終わって、すぐ外に出ていたなら例の隕石落下が見られたのに……、なんていう声もありましたが、こればかりは予想できませんからねえ。